

後輩たちへのエール！ その6

2020年5月8日

今できることを

◇今回は、臼田真之さん（一橋大学法学部）のエールです！

この文章に目を止めていただいております。関高校の卒業生で現在一橋大学法学部の二年生に在籍している臼田真之です。

今回は、コロナショックで不安を感じている在校生諸君を励ますメッセージを、との依頼を受けて筆を執っています。精一杯書いていこうと思います。

ですが、「明けない夜はない」や、「神は乗り越えられる試練しか与えない」だとかいうつもりはありません。僕自身、そんな言葉を信じられないし、言う立場にもないからです。ですから、ここでは比較的皆さんに近い立場の僕がこの状況に対して思うことをご紹介します。と思います。

まず、ぽっかり空いた今の時間に自分を見つめなおすことを提案したいと思います。僕の思う目標を達成する人間の特徴の一つは、自分のやりたいことが明確なことです。在校生諸君だとたとえば大学で何を学びたいか、といったようなことです。やりたいことが明確な人間は、その実現のためにやるべきことを逆算することが可能で、限られた時間とエネルギーを無駄なく利用できます。また、はっきり自分のやりたいことを持っている人間は、その実現のための努力を惜しみません。受験勉強であれ、何であれ人にやらされる努力より自分のためにする努力のほうが結果に結びつきます。ぜひ、自分がやりたいことが何なのかを自分の中で確固たるものにしてください。

とはいえ、進路を考える助けになるはずのイベントは軒並み実施を危ぶまれる状況ですね。何をヒントに自分の目標を決めればいいのかわからないという人も多いでしょう。そんな時はぜひ周りに頼ってください。例えば先生に興味のある分野を伝えればその分野に詳しい人を紹介してくれるかもしれません。関高校のHPに掲載されている卒業生からのメッセージを読んで話したいと思った人がいれば学校を通してお願いしてみてください。きっとところよくアドバイスをしてくれると思います。法学や留学（アメリカ）、アメフト等に興味がある人はぜひ僕の連絡先を訪ねてください。行動することが大事です。

この一大事に際して確実に言えることが一つあります。それは、この大変な困難を乗り越えることは必ず皆さんの財産になる、ということです。皆さんがどのような道を志すにし

ろ、未曾有の危機に立ち向かった経験はきっと役に立ちます。自分の思うやり方で構いません。考えて、実行してください。必ず自分の力になります。腐らず、前を向いて進んでほしいです。

僕も、自分のやりたいことに向かって努力します。お互いがんばりましょう。



↑大学の新生合宿でクラスの面々と。
大学でも楽しいことが待っています。



↑数か月前まで所属していたアメフト部での一場面。
僕の大学でやりたいことの一つでした。